

## 1 ポケットパークの整備(白河市)

### 地域の現状と課題

白河市では中心市街地の空洞化が進む中、中心市街地活性化基本計画を策定し、地域の歴史・文化資源を活かした市街地再生を図っており、イトーヨーカドー跡地を市が買収し「マイタウン白河」として整備を進め、現在では市民の情報発信の拠点として利用されています。(マイタウン白河の1階には商業スペース、2階・3階には市民活動ができるスペース等があります。)

また近隣の大工町商店街では、手作りの「のれん」を作成し歴史の風情を活かした地域活性化に向けた取り組みが行われています。

但し、地域の情報発信拠点である「マイタウン白河」入り口前の国道294号と歴史の小径として整備している市道新蔵通りを結ぶ連絡路(通称：上り戸)がとても急なスロープになっており特に冬期の積雪時等は危険な状態で、地域の方々の交流や地域づくり活動にとって大きな支障となっていました。

そのため県では地域づくり活動支援として、地域住民代表者、道路管理者、公安委員会からなる懇談会を開催し「上り戸」の改良についてともに検討を進め、平成16年度に「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」により、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた緩やかなスロープを含むポケットパークの整備を行いました。

### ポケットパークの整備状況



### ポケットパークの利用状況



本箇所は「平成17年度優良土木建築工事」として表彰されるなど、やさしいまちづくりを支援する交流空間として生まれ変わりました。現在、この交流広場は多くの市民に街なかの安らぎ空間として利用されるとともに、谷津田川沿いの自然と情報発信拠点、小峰城等と連携した、安心・安全な街なか散策が可能となり観光客の回遊性が高まるなど交流人口の拡大につながっています。

）元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業：それぞれの地域の風土や各種資源を活用し、地域が主体となり、個性と魅力ある持続的成長が図れる美しい地域(まち)づくりを行い、交流人口の拡大に結びつく戦略をソフト・ハード両面から推進する事業です

## 2 「県外のまちづくり情報」 ～ 愛媛県大洲市 ～

### (1) 愛媛県大洲市の紹介

愛媛県大洲市は、平成17年1月11日に、1級河川「<sup>ひじかわ</sup>肱川」流域の4市町村が合併し、総面積432Km<sup>2</sup>(猪苗代町と磐梯町の合計面積と同程度)で、四国西南地域の玄関口に位置しております。市の中央を流れる肱川を中心に、農林水産業地域、流通・商業の拠点として栄えてきました。

特に肱川でのうかいは「日本三大うかい」のひとつにも数えられており、大洲市の風物詩となっております。

大洲市は下記にご紹介するような施設や歴史的建造物を活用したまちづくりを行っております。

### (2) まちの駅「あさもや」の紹介

まちの駅「あさもや」は、市内観光の出发点です。観光客がここに車・バス等を置いて、町の中を巡ってもらうためのスタート・ゴールという位置づけから「まちの駅」と名づけられました。

施設内には観光案内所、レストラン、トイレ、物販コーナー等があり、専属の町並み案内人の方が常駐しています。

大洲市観光の総合窓口といったところでしょうか。



まちの駅「あさもや」



物販コーナーの様子  
(名産品の試食もできますよ)

### (3) 「おおず赤煉瓦館」の紹介

おおず赤煉瓦館は、明治34年12月に大洲商業銀行として建築されました。

建物はイギリス積みの赤煉瓦構造で、屋根には和瓦を葺いた和洋折衷の造りになっております。

現在は赤煉瓦の資料を展示した「れんが工房」や「ギャラリー」などがあります。

今ではなかなか残ってない造りだそうです。



おおず赤煉瓦館



#### (4)「おはなはん通り」の紹介

前頁でご紹介しましたまちの駅「あさもや」の近くに江戸時代及び明治時代の面影を残す町並みがあります。

この一帯で昭和41年にNHK朝のテレビドラマ「おはなはん」のロケが行われたことから「おはなはん通り」の名称で親しまれております。



おはなはん通り



おはなはん通り



おはなはん通り



おはなはん通り周辺の道路上に施されたサイン

#### (5)「明治の町並み」の紹介

この通りは商家と武家屋敷の境界にあり、両者で好対象を見せています。腰板張りの武家屋敷やなまこ壁の土蔵があり、通りのいたる所に小京都の風情をみせています。



明治の町並み(写真の左側が商家)



明治の町並み(写真の右側が武家屋敷)

### (6)「ポコペン横丁」の紹介

「ポコペン横丁」とは、まちの活性化に繋げるために昭和 30～40 年代の商店街を再現した町並みです。ちなみにポコペンとは、昔誰もが遊んだであろう「かくれんぼ」、「缶けり」の時使っていた遊び言葉を引用し、昭和 30～40 年代の懐かしさ漂う横丁をイメージして名づけたそうです。

敷地内にある「思ひ出倉庫」と呼ばれる倉庫内には昔懐かしい雰囲気が漂っています。この敷地内に入ると、昔にタイムスリップしたような気になりますよ。



ポコペン横丁



「思ひ出倉庫」内部

### 3 ちょっと一息 ~寅さんが歩いたまち~

大洲市は、「寅さん」シリーズ第 19 作「寅次郎と殿様」の撮影場所です。(1977年8月公開)

実際の撮影では、市内中央を流れる「肱川」の河畔や、冒頭で紹介した「おはなはん通り」などで撮影されたようです。

大洲市には本レポートでご紹介した名所以外にも「大洲城」という由緒あるお城を始め、歴史を感じさせる建造物が数多く残っております。

お近くに行かれた際には、お立ち寄りになってはいかがでしょうか。



### 4 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol. 18」はいかがでしたでしょうか。

今後も充実した内容となるよう努力していきたいと思っておりますので、取り上げて欲しい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

**メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、**

**1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、よろしければ、5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。(E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp)**

**登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。**

**【発行元】福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ**

**電話: 024-521-7510**

**FAX: 024-521-7956**

**E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp**

**URL: http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html**